

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 61080971 A

(43) Date of publication of application: 24.04.86

(51) Int. CI

H04N 1/40 H04N 1/40

(21) Application number: 59201873

(71) Applicant:

FUJI XEROX CO LTD

(22) Date of filing: 28.09.84

(72) Inventor:

NAGAOKA TAIJI

KURATA MASAMI SAITO HIROYUKI

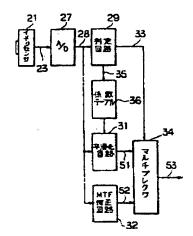
(54) PICTURE SIGNAL PROCESSOR

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain a picture signal processor which can execute satisfactorily smoothing with respect to a halftone dot image of a wide range, by executing a signal processing corresponding to the number of halftone dot lines with respect to a picture signal which has been read with regard to a halftone dot image.

CONSTITUTION: An analog picture signal 23 from an image sensor 21 is A/D- converted by an A/D converter 27 and supplied simultaneously as a digital picture signal 28 of 6 bits and 64 gradations to a halftone dot line number/ character area deciding circuit 29, a smoothing circuit 31 and an MTF correcting circuit 32. The net point number/character area deciding circuit 29 discriminates whether a notice picture element belongs to a character area or a halftone area, outputs the first deciding result signal 33, also discriminates the number of halftone dot lines with respect to an area which has been discriminated as a halftone image, and supplies the second discriminating result signal 35 to a coefficient table 36. Based on this second discriminating result signal 35, a coefficient of a space frequency filter is selected and supplied to the smoothing circuit 31, and smoothing of a halftone dot image of a wide range is executed satisfactorily.

COPYRIGHT: (C)1986, JPO&Japio



⑩日本国特許庁(JP)

10 特許出際公開

砂公關特許公報(A)

昭61-80971

@Int_CI_4

鐵別記号

庁内整理番号

個公開 昭和61年(1986) 4月24日

H 04 N 1/40

E-7136-5C Z-7136-5C 101

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

公発明の名称 **断信号処理装置**

> 创特 展 昭59-201873

多出 題 昭59(1984)9月28日

仍発 明 者 永 岡 大 治

梅老名市本郷2274 富士ゼロックス株式会社海老名事業所

内

仍発 眀 者 倉 Œ Œ 實

海老名市本郷2274 富士ゼロックス株式会社海老名事業所

伊発 宏

海老名市本郷2274 富士ゼロックス株式会社海老名事業所

内

頤 人 创出 富士ゼロツクス株式会 #

之

東京都港区赤坂3丁目3番5号

30代 理 人 弁理士 山内 梅雄

1. 発明の名称

節信号処理装置

2. 特許請求の範囲

1. 網点画像によって形成された網点画像領域 を少なくとも一郎に合む園情報源を読み取る読取 装置において、網点團像領域の部分で網点を構成 する複数を判別する網点複数判別手段と、網点面 盤領域で読み取られた團信号に対して前記精点機 数判別手段によって判別された機数に応じた信号 処理を行う信号処理手段とを具備することを特徴 とする關信号処理装置。

2. 朝点画像の平滑化を行うための空間周波数 フィルタのフィルタ係数を網点練数に応じて変化 させる信号処理手段を具備することを特徴とする 特許請求の範囲第1項記載の關信号処理集置。

3.発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本発明は、桐点印刷等によって桐点面像の形成 された画情報源に対して画像の読み取りを行う読 取裝置において、網点顱像の部分を平滑化するた めの画信号処理装置に関する。

「従来の技術」

イメージセンサを用いて原稿を読み取り、量子 化された面信号を用いて記録または表示を行う画 像処理装置では、原稿に文字画像や中間調画像の 在在している場合それぞれの部分を区別して画像 処理することが行われている。これは顕素ごとの 2 盤化処理 (単純 2 値化処理) では文字や練園等 の文字面隙の部分のみが良好に再現され、構点圏 像等の中間調衝像の部分の再現性が不可能となる 一方、ディザ処理等の擬似中間調処理を行うと中 間期面像が良好に再現される反面、文字画像の部 分の再現性が劣化することになるためである。こ こで網点面像とは、網点印刷によって階額表現が 行われている画像部分やブリンタでいわゆる「紹 かけ」を行った画像部分をいうことにする。

さて文字画像の部分と中間調画像の部分を区別 する従来技術としては、特開昭58-3374号 によって開示された装置が代表的なものである。

特開昭61-80971(2)

れる反面、細かい網点の部分では平滑化がオーバーとなり、画像の鮮鋭度が失われてしまうという欠点があった。また反対に弱い平滑化が行われる場合には、荒い網点を設去することができず、前記したモアレが発生してしまうという欠点があった。

本発明はこのような事情に組み、広範囲な網点画像に対して平滑化を良好に行うことのできる選信号処理装置を提供することをその目的とする。「問題点を解決するための手段」

「実施例」

この原稿上の網点の白点および黒点の位置と大きさに対応した白黒符号列よりなる検出信号とを比較する。そしてこれらの信号が一致するか否かを判定することにより、網点画像の部分をこれ以外の非網点画像の部分と区別する。

このように従来から、①文字関係の部分と中間 調画像の部分を区別すること、および②視点画像 の部分と非額点画像の部分を区別することが行わ れており、それぞれ画像の信号処理に利用されて いる。

「発明が解決しようとする問題点」

ところであるの漢度あるいは階間は、単次を表して、 単位の 関係の 関係の 関係 の 対 に に 納 は に 初 は の 対 な の 対 と に に 初 な の が と の が は の の が と の が は の が は の が は の が は の が が か か か か が は な に の た が な に の た が な と の た が な と の た が な と の た が れ る 場合に は 荒 い 柄 点 ま で 除 去 に れ の れ の な で な か か わ か れ る 場合に は 荒 い 柄 点 ま で 除 去 に な が わ わ れ る 場合に は 荒 い 柄 点 ま で 除 去 に な だ い 柄 点 ま で 除 去 に な だ い 柄 点 ま で 除 去

以下実施例につき本発明を詳細に説明する。

A/D変換器 2 7 は図示しないビデオクロックに同期してアナログ画信号 2 3 を入力し、これを6 ビット(6 4 段階の設度)のディジタル画信号 2 8 は初点線数・文字領域判定回路 2 9、平滑化回路 3 1 および M T F 補正回路 3 2 のそれぞれに同時に供給される。

期点模数・文字領域判定回路29は、①処理しようとする画系(以下往目画素という。)が文字

特開昭61-80971(3)

領域に属するかそれ以外の領域すなわち中間額個像領域に属するかを判別する。そしてこれらの別結果信号33として出力する。第1の判別結果信号33はマルチプレクサ34の制御信号となる。額点線数・文字領域判定回路29はまた②中間顧鑑像と判別された領域に対して額点線数を判別する。この判別結果は第2の判別結果信号35として係数テーブル36に供給されることになる。

作成するための回路部分はこれ以外の多くの変形が可能である。

信号処理領域の面信号はフーリエ変換回路45に並列入力され、フーリエ変換ではなる。変換出力はそれぞれの空間周波数成分ごとに4値化回路46に入力されるそれぞれ2ピットの4値化データはアドレス情報として判定用ROM(リード・オンリ・メモリ)47に供給される。判定用ROM47には網点の複数に応じたパターンデー

タが入力されており、アドレス情報の内容に応じた稍点複数を判定結果として読み出し、第2の判別結果信号35として出力する。

さてシフトレジスタ44に第1の網点面像領域 24を読み取ったディジタル画信号28が入力し たとする。フーリエ変換回路45はこの100線 ノインチの钢点雑数の信号処理領域の適信号群を フーリエ変換する。このフーリエ変換出力は、第 7図に示すように額点の繰り返し間彼数に対応し た空間周披数のほぼ中央の位置にピークを発生さ せた彼形となる。これに対してシフトレジスタ 4.4に第2の網点面像領域26を読み取ったディ ジタル画信号28が入力されたとすると、フーリ エ皮換出力は第8四に示すようなものとなり、波 形のピークが高周披倒に移動する。このピークの 生じている位置は、150線ノインチの構点線数 に対応することになる。なお写真画像のように細 点が存在しないものは、ピークが無限大の位置す で移動することになる。

このように相点線数に応じてフーリエ変換後の

彼形のパターンが変化するので、これらのパターンが変化するので、これらのパタークと利定用ROM41に記憶されたパターン判定の一致をとることにより、網点線数を複数の利定用ROM41に分けており、これを第2の判別結果信号35として出力するようになっている。

対する適正な平滑化が行われることになる。マルチプレクサ 3 4 から出力される画信号 5 3 は図示しない記録部や表示部に供給され、画像の再現が行われる。

以上説明した実施例では文字画像と中間期間像との区別を相点の報練数の判別と異なったプロマを表ので行ったが、文字画像についてのフーリエ変換の旅形は相点面像のそれと大きく異なるので、判定用ROMに予め文字画像のバターンデータを書き込んでおくことにより、両面像の区別を行わせることも可能である。

また実施例では網点線散を装置自体によって判別させたが、適信号処理装置に網点数遊択用のスイッチを設けておき、オペレータの操作によって 網点線数を遊択させるようにしてもよい。

「発明の効果」

このように本発明によれば網点線数に応じた返 正な平滑化が行われるので、画像の鮮純度を不必 要に劣化させることがなく高圏質の画像処理を行 うことができる。 供給される。

一方、MTF相正回路32ではディジタル固信号28をMTF(Nodulation Transfer Function) 補正し、光学系に起因した解像度の劣化に対する 文字顕像部分の修復が行われる。MTF補正回路 32から出力される面信号52もマルチプレクサ 34に供給される。

マルチプロ 3 4 では 1 5 2 では 1 5 2 では 1 5 2 では 1 5 3 では 1 5 3

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の原理を示すブロック図、第2 図~第10回は本発明の一実施例を説明するため のもので、このうち第2回は面信号処理装置の概 略構成を示すブロック図、第3図は原稿の一例を 示す説明図、第4図は網点複数・文字領域判定回 路における第1の刺別結果信号を作成する回路部 分のブロック図、第5図は画像状態の利別に用い る画素群の構成を示した説明図、第 6 図は網点線 数・文字領域判定回路における第2の判別結果信 号を作成する回路部分のブロック図、第7図は比 校的荒い朝点画像の周波数特性を表わした特性図、 第8図は比較的細い網点画像の周波数特性を表わ した特性図、第8図は第7図に示した網点画像に 対する平滑用のフィルタの特性図、第10図は第 8 図に示した網点箇像に対する平滑用のフィルタ の特性図である。

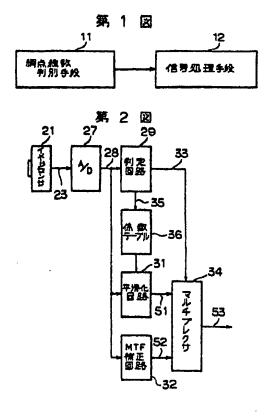
- 11……網点線數判別手段、
- 12……信号処理手段、
- 2 9 …… 網点験数・文字領域判定回路、

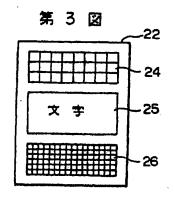
特開昭61-80371 (5)

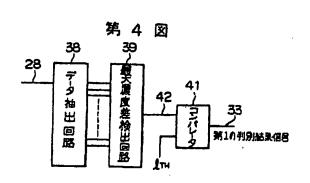
- 31……平滑化回路、
- 3 6 ……係数テーブル、
- 4 5 … … フーリエ 変 換 回 路 、
- 4 7 ···· 判定用ROM。

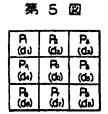
出 朝 人 富士ゼロックス株式会社

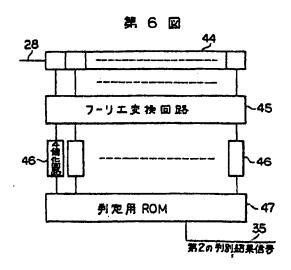
代理人 奔理士山内框制











特開昭 61- 80971 (6)

